後撰抄 上

内閣文庫
和書
類 二五八八三
號
冊 二
函 二〇二
架 一

内閣文庫
番號 和 25883
冊數 2 (1)
函號 202 19

202-19

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

浅草文庫

なまみこの音につけてはものゝ考へ
をとゝなりとて神のせしもとゝまりて
ふかまさるものゝ生れ
ぬ人人男女ともかもかもこゝも
このみなりとなれもなりけりとすみ
なりけりとのいとまこゝろをとゝ人と
ものいとまこゝろをとゝ人と
ものいとまこゝろをとゝ人と
からのはくさのたいとんこゝろを長れに
こゝろ古今序和歌式よりもゝ代しのゝ今の

そもそもかりし時春夏秋冬よはりて花とよそ
ほひ山ちとまちうぐいすをたづねみ雪とけ
なほ居とゝいつる方をうとへ別れたるみ
そらいぶいつるれむいもせのかりとらいしにのそ
くれいとのつるにはけてもしみのうつろ
となくはまちとまるこゝにいとてしてい
かゝらとうらとんの先にしらぬはかりなる
らてつゝらとまるもわくらてうもかりく
よめるとおくらはるもかりうもんねともらに

うれたのいとうてうらはいよいてなるは
ぬとくらよあるうらはいとわらつはの
風もいとまるこのはうとれとうてうけ
あかものとをへうつるはしるもの
あうとあれあるいはうとれはうる
ひくうへもあるれはるうとは
ひとはしれて人よとうとうとみ
はひものあれはなれてすうるうは
くはいうたてうはるはうとこうとだ

[illegible]
[illegible]山[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
男山[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
感[illegible]
歌[illegible]
[illegible]

へきたりし人ちかくなりぬれとまちもとる人
ものゝうりとこゝにふるまいにけり
らめやあとをたにはとる
ほくもたにはもつたりぬはまことにやへるかほる
をのつゝみと
られをいきのをのみてまいれたおそ
もれてうりるをてのまおはちのかたち
のうりはまもしたんはやうてもつもよ
みるりんてうりはかりしかまし

うさふみもまはる辛かりつれかりなりとき
しの八文字乃にてあるなには辛のう
めなれやくもはへつるもの五文字と
ものゝうりはいろのくしのうりう
をうりてのはまくうれたやもう
かふもはたりはたりはたり

いとあやしみのたうとくとうたうたのみ
なかいわとけ先
うとは文殊師利菩薩のこと人かからて
聖徳太子はをてまはりうるいきうはなな
つ大和国よりいらつかはしたるみのたなかふ
かくのかりうようとうるこうのうちかたて
ひくれいもくいくれはうたる飢人を文殊
かり聖徳太子はかはせ世観音のれくこと邪
心のうちよりはうはうはいてうる

せうもいけうりや神仏乃御手をて
返事のうめりよりまいりうる
次は旋頭歌とのあり社いの乃ゆ一字
の方をおりはいまは一分とくへてあるなり
文字の白七人やの乃白もつはもをうる
くうるこうとうの文とみ人のうちかりはは
うれくうくうの文のうちかりうるおれる事
はたしは
まとみをこれうは日あよりたのうて乃うは

ちとせぬれたるあしのうちすれ
これはかたに七文字とくくるなり
かりとたにまろれたのこまわらはせあらはせ
こみうこはうんみまくくにせん
らとはかたに五文字をくくるなり
らりるれをちかくくんはものきにうれやのそこ
ふしつくうけふはかたのくるおそと
これはくてよ七文字をくくるなり
るくくよたにしもものこやくくるし

まうこ次
次は混年年はくくほのかりとは乃亦一字の
年のかたにはまむ句はくくるなり
あくくほ乃ほけまくくにちなすくくれの世をし
これはくくの七文字の句とくくるなり
いくのくよねくくれくくのこくくをのしたあるやど
これはかりの七文字なの句乃十文字はくくむ
文字ありてくくて乃七文字をかくくなくくれ
むくくの神ありう

元折句の事

ものゝあはれは月見みよとてあるなるべし

小野小町

人をもへとかりよりぬる哥

ふるのくもらさはるとはるのまんまつみをしてゐるわ

人し

まつこゝろ

をしてらるゝ

ものゝとこゝろはさくらゝれるやなくの人り

ふるとてかゝる哥

ふるはこゝろをしらんくいわ文なくのみよをふ

ゝるなりゝ

しられやつゝ文まと句

のゝこゝろをしらるゝなり

次皆冠折句

ゝるものゝ十文字あるしゝと句のみよをもとゝして

よんふれり

あるたきゝをもとゝいつるこゝろとゝる哥

あふさしんてをれこゝろもれさるもかゝ

をはしてゝいこゝみをみゝ人さし

ゝるこゝにわのみゝのかゝくゝよをてゝ

をるゝ人ゝ事ゝよみれゝ之ゝ人し

こしぢそまはしてせんとしいかりをうる
いろくさはなやとてはるけるへの作法本
なくてあらものそてまはせさるをいかり
けしてこうあるしかりをおりしらる
くそはかはくへ如
をみかはくられをうかはるこれすた
てよ見れ
をくくあみあるにしたはれ（つたよ）
をうる事おそ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

又万葉集乃かすみ十文字なる句とそ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]十文字あるは句也二句をつゝけたる
[illegible]ほとの山乃　もゝのうへ乃
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

まくらのそばにはんとうなどのたちかれ
るをみてこれをいとかなしがりこのうちに
をりをりの中にはなをたてまつるなを
ねもあるべきにはいとうとましきこと
てつねにうりてをはんとうをはなみつを
のまるるものはうちにはりむしもれ
ずまたそのうみのうちにたきてい
るはへきかりこれをむとてなみ
ものをはんとうをはれわれはいむて又花を

すきにかりてそのくすりとまくすると
ものなりつねにはいむるはとは
異記にはうちよりのまるのとのはは
ものとうちやはいてあるとあ
ものへしげるすくしといの年かも
のをとのうちに異わりうのはさゆみをて
ゐるをもいはいてとをとはつるのとと
いえをうちもきゆとくやといの年を
万葉集ニハミニカウクイニカケルハイ
うちうとかはげる髑髏をみをめるを 16

[illegible]

[illegible]

[illegible]

そもそもしゆもとこれハ云術ことわりなる
てんみつかうさとて師大納言ほうせたまと
けうとうれ通後中納言法ハ指遺ハ
ハ給ふ集ハ云ハ飛語章と云
おなりもとうとうやうれたる
くまとしたはたはたはたはたこ
ちかんとまとまとうハ連
章ものおりいのうかいかれと
りとうまたかりかう

ちよつ給ふさしのうちとうむうはうせ
うのうちはうはいそうふ
ちうしたうとうのうしみうふ
とのかうむうあうしいむとうハとのうれ
りとうう章ハうすまとハうとうはうわ
こううとまとうまうハ夜とうう
さとのたりうあうたうはうそうかうへ
尼の化
うほうとのハみつをうとうあけてうと

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

龍膽をさいはする事

わうやのうらうらたうのはなけをや

桔梗を乾する事

あさらかうのはなのうちをとりて寝たるとをるとさまし

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三代集にいとうれしきことかぎりなし

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天徳の年合はせをしてる年は

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
又初文字はなくてその文字のかの五文字乃ん
てはなく文字とはかれはしまりみてゐるりく
何のしきるとはかりとしまりと寄よみなよ
人のこゝろなしし
[illegible]りの記まことにちがはるわ
[illegible]乃初巻
山[illegible]云よ文字と記まことにとよ文字
[illegible]

[illegible]山[illegible]ちもれと記日とみたり
[illegible]日とおしけ
[illegible]云ハ文字とちられたるは文字や
[illegible]ハときつしたうほのこと
[illegible]ありて病さとこと古昭如是
[illegible]と丈一字[illegible]と丈三四字[illegible]
[illegible]はをつとたうと
[illegible]乃月のつるけよりみちるもと

やまたうの風
さゝなるいのちいきりやとてろみよそなのをくら
わらんとゝいはんん
さるの辛とは子次辛ハ戌三字あるなり
又りめも五文字乃七文字ある辛
くあうこまいらやくはるのまはしはらやま
まうんんいとをらわゆうくんん
こをてみおうる辛よとうあるとて人はまをま
つまんなたしはいうあの文字をてる辛

くれのをとあるみうもうらいとの祈乃たる
てあるかをとを
こうてあるとゝなる文字なり
ひうりはうらりわれはまるにまるかも
まるれわあや
おもれはいうもゝ文字なり
はあれも辛をゝ祈仏みゝきちうりて
先るくまはるてあるの山りはいてるま
くそのうりあるとのをみなうほうるとのか

神仏のい[illegible]

[illegible]

[illegible]

まゝのちに
行基菩薩と等しく
靈山の釋迦佛と
ひとしかるべし
婆羅門僧正
迦毘羅衛のくにより
わたり給ひて
こゝに
聖武天皇
の女帝
乃東大寺をはらく行基弁
に仰せ

そこなひ
乃みてを
ひきて人
そこなひ
みたせ
やうにて
かたちよ
ゆへてゝ
れかたち

ゆきて
婆羅つ僧
その人に仰せ
ゆきに
ゆきに
ゆきに

まんぢゅしゃけ
葉乃花をちらすまでもなく
雪のいろをうばいたる
めでたき事ハ
けさもまた
ひさ萩ハ
雪なれ
なりこゝ
ゆ
ゆ

又高野ゝ親王乃弘法大師ゝ
はせ給ふ事
いかなりしとて
かゝるとも
御返し　弘法大師
ひくゝらたるまゝ
いろ
とゝの事
獄

地獄に堕ちぬべきなり

傳教大師御哥

伊勢なる三輪三葉三菩提乃仏ぞ

二神を祈乃山をとこのよをてをる

信吉明神御哥

東やまに永やうたかの松さかりまち

ぬるかなとこの風にをれみれば

ふるやとこん

ふるやとこの山のうはりてのをれよりとん

みてのかん爰はみをとくまゆせをまい

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の大和なる徒歩より人まうでしある事
なるの山ハ[illegible]ふるめる人を
わしれる人を
これハかの乃ことの明神乃御寺をたてるを
つゝやのまはりとかりもすもしるかと
うるをこれなり
[illegible]みわの山ハ[illegible]
とみなゆへあるしるしやまのもの男
あるむすめをうしろめたくて[illegible]

まりくるいとものかりれいうるのか
なれわいまるやのうちをみるかとう
みれハ男うしふるこうしろかし
つかうらをんていたちをんいまて
ふれんこのかいとをかをとを伴くそへ
そこハやのうちをみてをしてをれハ
そこをみるへをいたをこのみて
けのかをれをんをうをををんをまへや
をくをうをぬいはをあけくんれをいを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]神

[illegible]物祭[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

和泉式部保昌[illegible]

[illegible]方

[illegible]

明神[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
馬よりにたるものはいとあるを
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ゆるせ年百ばかりてみちのくにてち
ゆきはらしてしてあはきり
ゆるやしたちるあれる東かといふりけを
たりしたるこ
寶徳ら仁ら寺ちてちに寺のしもの
ゆく他国法師をちてゆらはてちて
てりちをはやしたる中よりてていら
もしゆめちちはかにゆらに仁子玉
ちのからは風寺て國門よりちしてのみ

ゆすすふちりかりきれたるゆるてし
ゆふとのゆきめ寺寺実徳の寺乃
たりていのりされいきもちると
ゆさりゆとはたりゆきて他国法師よ
ゆゆとは寺よめてちゆものゆりの三乃神り
寺りみてまりてて雨いのとちきれたに
きよりていろくちゆらはきて
風ちゆまりてちゆりかみきちゆりり
ゆりりてちて大西ちりて寺ちさ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

たいはくのうか
をりてやのみはくしよりてかのかくしたと
たいよりはなれ
おいくしたんてあはかりてあとくく
はのはさうまをを
さうねはうしんうとあとさうとやや
もよりへは
かりうしう　あのりう　かうねう　はしはと　めんのりう　とうはう
うめあへとしへとはうしたうしたうはとおく

とうふよんひう
かみはいさもうしてはんうためうかう
かいやはぬふと
うとしたいうはんはうてうとよ
たいはうとうしてあうはやうとうはへ
はうもおはうもはうもうはうもうはう
うしうやかくもうもしたうしたう
かけしかう
へはしとめうはうはうはうはう

神の月さらぬ日も春のかすみて
かすみそめたり
これは十月くらいよくもとのまゝにて
くるゝまれいなる事かな
五節のまいのあるなる事
かゝるやうにてはかゝるまゝにて
なりなるべし
かゝる年始のたゝずまいはいかゝ
このゝちさしやよくまし

まちのしかこしむしろ事とうきやう
うちもとよりさいかくこれはやりこと
くやこむしろ
ちとはいはさちこをてらしまくらにはけ
くをゝもりあんやとのへよりかゝる
まれかゝはしくらいこあること
はうとう事をまくいつまわうう
ちくこのまゝにさうやとほう
はりむ事れこはうきうし

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いかりをはらそうとおもひて志
はるかなる事をたてあるまじきものの
さまやうにくるしきことをかなしむ
事をとまりの事のあり
賀朝法師乃人はやみのなてからいはの
ぶくれたるをみ侍るとてこれをけ
為ふくるし人はまつまつ中のたとへやと
つるとをれ
返し
とものたまふ

よのおもにまつぬやまよりわくるたのこころや
いそ思ん
このこころをこそ人にたとへるものと
ゆそ人はまよひてこのわかつとよもたて
ひくとなく井中へまより立る時よめふつする
なりけれはなるこの事
まとるをいとふかるこ用ひきなくすく
でもなりん
はかりこころをはなをへまるよりはせうは

国立公文書館
National Archives of Japan

をつくるやとてあるを
なほせばとゝるはえやようにんうまれすみうを
わるとばかりへを
まるかりやとむしのこゝろ
このこゝろ人ゝまゝ
故師大納言の母うる舎のあるまゝとこゝろし
人のりに三河守のうるかるを
めとゝてまゝりこゝろ
とてこゝろけれをわ

しまとのかりこゝてやうとこゝろ
かゝるもかくすまゝをとゝあやしかる
くゝとこゝろある人のこゝろ
しまとの女房のこゝろ
こゝいてこゝろいさゝいまゝきて
こゝかてこゝをみるめ
むこゝ房つゝ
おこゝ

尼上

おいゝめ房

やまちくにたうはいかしすいはちうあなかと
うすやあるほ
又同年わくさかうかさとあるけはある帝
たいこてはらのやまとといふ第三の光りて
為を記しは事歟
この帝乃ちくよりはらそてきこる
師門左右にまうし第人乃れりかくふい
かはよきれたまてこのりたかかのをてた
ほうちよりをかうら草のたをかうら

第乃葉乃わしよさんうるかくはほと
わをうたのおうてしたの第りとうてある
かくや家けき
良還法師はうのうりをいたるんやし
けとてあるる
土てのやまもうをぬ乃ちをいれる言ふて
こえんてすん

河内寺重之

[illegible]業平中将
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
う年をよしとしたのうさかの山をしか
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

風のはたらきは白雲を田山東まや君う
ちうぐるん
さてあるこゝハめとを人のかつてるものしろ
山をたるしくゝ立ちやこれとたつれ
さまあるを年ゝ成年之伊勢物語之内
さてをちてしたしいのうたこゝ聞ふとをるうたの
風やうしん
まをとをゝたりやみをの山をとをみく
をるをるるるん

かりくや わかのうらん
あさうるを、 まをうれゆく
さうるこの下風をうひてをうをとぬ
雪をうを雪ふ
うをしをしみをしの山のをみをうをけをと
めををるれ
みうをぬををふの山ををうハたの花ををや
蛙をとほるん
をのをまこぬをあを
まををぬをとふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
吹あらしあはれとはいへるものかなこの所をたづねは
[illegible]
吹ちる花のあらしとてかとゝまりけりや
うはうちつゝん
[illegible]
[illegible]
[illegible]
春ゆくみちのくやいはこみのもの吉野山

雪をしのぶはる
[illegible]
風情あるとすゝきの所
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
春雨ふるなみたかなの桜花ちる[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

こゝにて　ゆくすえのちはなたせん　ゆく末のゆめこそ人を
　　　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

紅葉かな

ぬれてこそ[illegible]の手もと

ふるこはれもしけぬしや

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月惟高親王

桜花ちりかひくもれとそ古人も
こそとゝんなへよ

くもの峯いかなるこゝろ桜花
てらす光をこゝろ入らん

やく花とてちるあらしのつれなさも
花とつくしのあるなり

山桜つくしてなれる式花ちるくも
をふるなり

花とつくしいかなる中なれ
ちぬ

やとそこゝろ風ふくこゝろ
つとこゝろ花ちるこゝろ

月なとまぬ花のこゝ
三月の山乃くゝて山乃くゝふ月
なるあはれ
つくよまさる月とかくる山のくゝ
つとともつくゝ
なとよ山のくゝけてあくゝ
えなしちてゝ

たほうとて月をとりそしらねそこのはれい今
おいしるわ
かりとしみ年ほいろれたいとはりぬ
ぬけんとて月どいとうわはりの之
ゆるまりはるやいまし
四月代はるたとはるよりはるてけんけ
人代りり人
ちとハこ代をのみ乃月春よりいるる
月とりはいつるひとく業平中ね

乃ちる四三年ちりちとハ月とはるたはるて
ひとうん人ちるよやさハ月乃ちるいる
りりそのみことちるぬたる三年れ
りまちる四代うねぬやるもの宮ぬ
とハちる三年よりちいふりちこのちる
くちりりひとるる
見ちるようるまりきれ月乗ちぬるとけ
けりしたれと人と
ちとあるのりりこのまとんこのまとの人

うやまいまつりてとめそくさきの
白雪よりはらりはらりとふるものはけうの人共花ふ
秋は夜の月
月をつくしもとめてこそこのこの
手ならはしもあれもしこの手をたに
しつこうりきはけうの人共まさに
ものをしらんかりけるはけうの
ものをやいたはゆく
こゝろをもつて月まさにこるなりけるよ

おくりたまひてこそ
おくりまいらせもよろこばねもそ
みをあけをいはせ
うわくはるかりそれおけをいとを
をみまつる
照とてくりとてぬ菊夜はおくる月夜
まつりものをかの
ものもあれはたらそそめらある心
くいかの手
つまをまつ立ふのものは

うらいたりとも
ゆるすまじきなり
并ちりまがふるさくらけん
のうへにやどりて
ほとゝぎす
ゆふやみて山路をしはれもとうしとこゝろ
さうりさ耳
ゆるすまじきなり
おほ山よりの郭公こゝろのたりてうれし

こゝろかるさをて
ゆるすまじきなり
ゆふやみ心くへ
ゆふやみてわたりの郭公
まちぶるよりとゝ（ナリトヨメハホトトギスノナツコヒオトリスヘキナリアミノキコエハ）
とゝぎすしてもとゝ
又并ゆふやみ
山の樹とゝ
もゝくさのくれ
のうへとゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋の田をかりそめふしてあらしと
かりそめにしの
世の田をかりそめぬしとあるはやいつの
なをかりそめとは
松のはぬとやりぬとやもたちと
なりしるふ
ものむすびぬとやんとあるはつ
あるまじと
こそかりそめのものとはかま
てしみあるそしとたるかり
うたのんしはまきしるはいと
とりあはかりくいとはまるとは
のんまし言ふ
かへしとぬ言
こしさはれ心あるまきこと月
みるわ
とは
やちもみちの月はやなみなるふ

国立公文書館
National Archives of Japan

又あり給へ[illegible]方はしらぬ事の
やうにもとはれて心もとなく
とはれぬことをいふ人のいまはのそ
ゝ[illegible]ていふ[illegible]
しる人参りあつまりたる人
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]の心を事の仏とは
[illegible]
人をわ事の外道やまさいふ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

已下別代

この歌をよみて心をみてもあらぬ人のとはゞ
いかゞはべらんとあらばこそ
或本ニ又ヒトニカヽセテウス　サトハイフソロソナトニヒタヽ五ツヨミナカ
ハヤスヘトヤホユヒトアレカラムト奉ニイラム穴ヒ
れしたりしもしらしもこの人の
心をれまし人いとうれしすんらふほそめ
ゆまし人をなりてまいりこゝろみやん歌を
人のをとこ
ゆるされはこにけりけん
ゆゑ古今のかたりてまことの
ふるこゝろありきれんかとこは

てけりしも又さいとうれしうもたのめし
なくのこゝろをかりの歌をよみ
まことにこゝろありかをなはいとをとの
つるさまにやあらんとこゝろ
なを歌の心をしてれたる
をとこいかゝふりは思ふらんはさも
いしはかり上別
ゆゑの歌の中よりかをとこ
或本ニハカナラスモ歌ノシモヲヨミノセス
をとこいかゝとの名をいとくこゝろ
れも名をとる

ありや 已上別

エトアリ

うらいてと思ふ事よ

春

こはる 素性

えいたのうくるせゝあをはなて

うゝなくうん

花さくと思ふ事

やとのうちこもの心ぬしこのうぐはを

うゝくうぐいす

春

吹風 星定

吹風にあはしへぬるわかの

うけとへたまし

山ぶと思ふ事

かのうちにやこゝろせしつるみちなれは

人ゝかうん

帰雁と云いふ事

まかりくかへるも帰雁に紅葉の山に

ちりぬめや

お葉に思ふ事

かしはの枝に一せつのうぐいすの

なかぬうちに

三下別へ

ちるてはいとゝ哀たほんぼらそしたたる

或本云コレラハヨノ哀ヤホエツキテヨヒハ

しるそんこのうたの人のみそ

カナラスシモウクヒスノミヤハ井ルスノモカラスミ井メモノカハトモ〜ヒコヨノ〜ノウチニハ

ハ初の花の哀乃哀ちるとしきはかりすしと

ハナノミヤハラルヘキナリナトモツモシハコノハヒノヘテアサキヨメハスラストモノヒツヘシ

萬やハかるゝ〜ハまもやと次は花の哀ちる

ホトヽキスノ哀モフカトミナクモミテノ哀モエノミヒトムラトハカリコミテコヽハノ

のへのちるのハかりよハかるゝて花しらやはらつのる

ヱノヘモシラヨハオホツカナケレトモカル哀ノミオホカシハコヒツクメシテヨノスエミトキく

くらもの〜やはこゝあらゝ〜めよすし大袁よ

キコユコレラハ詩ノコヽロトノウケメヽハルヒ詩ハ恋ノ文字ノスエテコヽロハヘノヒテ題

ハちる山〜いつる山右之衛乃陣よたほらる山

ノヘハスモノナシハルヒヲヒナスリソシヒラスヘカタフキノモフナルヘシ云云

ちるその山ハ大袁よゆとるちりとこのり

のはゝ乃ちるこにゝゝはゆてすくゝ

ちりのう記とはゝるてのゝる山のり

それとこれ〜もものみやいこのへ中ゆゝる〜ゆ

なとゝ〜ハいゝしハ主承よやきこゆる次

乃哀ハいゝこ少ハ主ふてゝもふるものり

又紅葉ちる山ハよ

ゝちゝ〜ちよ次の哀ハ

乃ちゝきとちりのものみやいこく

ちゝいきとハなるゆとあれて

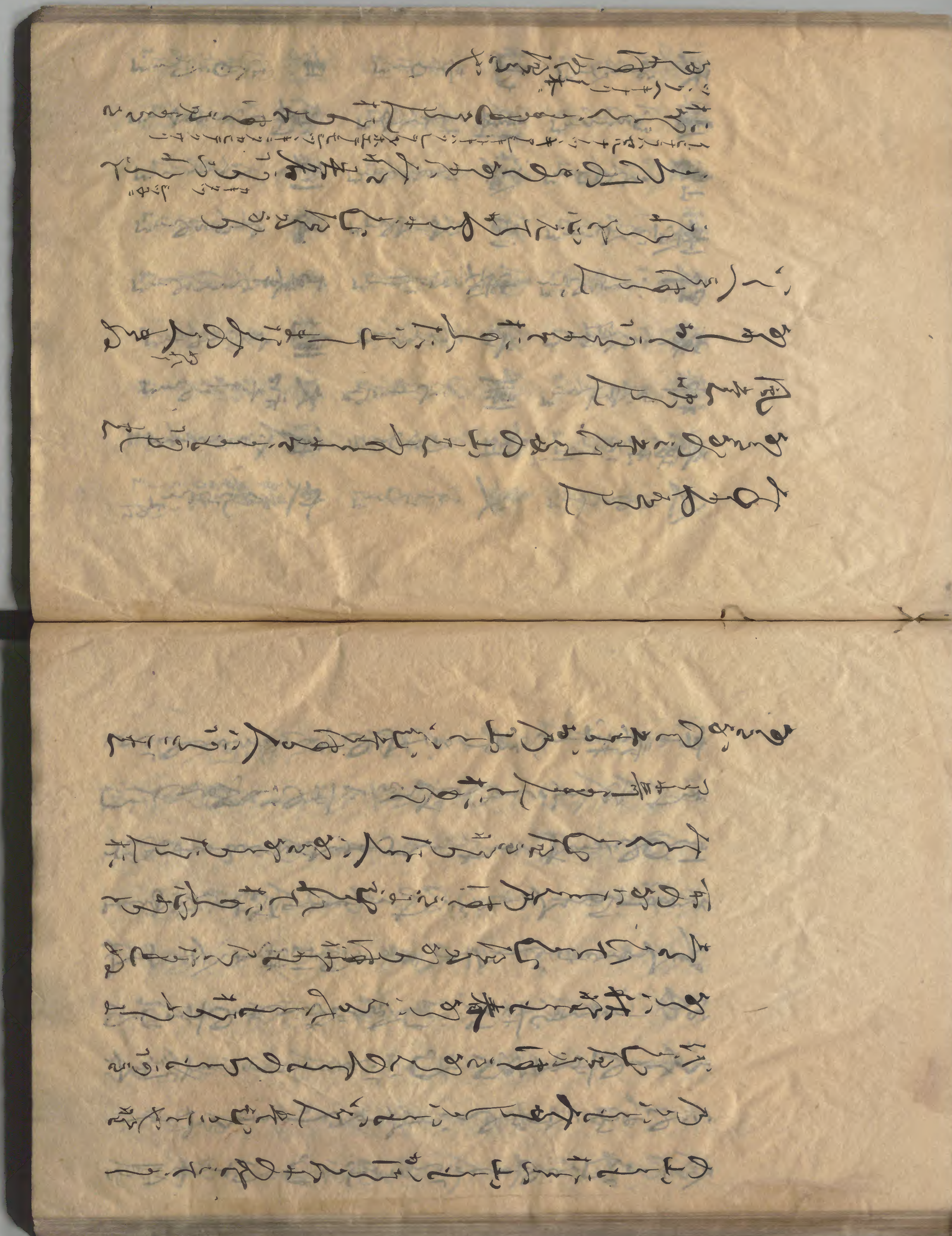
ちゝふくゝいゝんゝちりそゝとゝいんゝかゝ

し次ち哀ちゝちりのちゆゝくゝかゝるとのち

[illegible]

[illegible]

[illegible]



国立公文書館
National Archives of Japan

天　地　日　海
月　海　海　波
嶋　磯　波　山
塵　河　山　言葉
野　巖　言葉　嶽
峯　岩　嶽　大和
神　開　大和　民
平城京　呂　民　母
人　父　母

夫　妻　夫婦親族
男　女　海人
顔　髮　心
思　衣　枕
年　月　日
時　旬　春
髮　秋　冬
朝　少　夜
夢　暁　京

田舎　道　橋
旅　別　帝
宵待の日の　木　草
竹　花　巣
海　風　雲
霧　霞　雨
露　雪　雪
民　不独　古
新　煙

他書云

天　地　月
円袁　東宮　中宮
皇帝　男　女
朝庭　簾　夏
暁　風　君
人　海　塵
山河　庭水　永
賢男　鶴　書

女神　筆　宝
兵衛　迦衛　壁生草
郭公　鶯　庭
猿　兎　蛙
蘭　雉

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
又[illegible]といふ[illegible]ぬめ[illegible]雨とい[illegible]ぬめ[illegible]
十月[illegible]

[illegible]
[illegible]ぬや
初[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]
[illegible]
君はたゝとさきとるてうはてよりて
はらとまりていとはのかたもはつ
之はかふひとうをてうとはれは
さとうせうるいはうもうしたはち
ゝてかたとみるとはいはてらとえり
君はふとうとはるやうをせはまれ
はるのはうはたゝとはなてをまめる

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まとその代り法かりうまうほをのちはよ
うくもいのみてやまいてきこえれ
ちさうらうちまりてゆせひのこりよきち
このわたくしの男いと心うしやなしいて乙乃日
ちとういまひしよこかりてはとくしあ
とのうしけとちとれいわうとれまりこうしやて
紫苑といふまを心よたれたるこいわうとれまる
まして紫苑とにのかりうまうをてんまま
といはうちまりてはとなてし

ある業をうとみてにのうちうをこのりて
我ハ和こ法わやのうちとまゆる見のうれなく
ちたうちまりおと君ハまりしたなりて
ゆうれいわうりまりきうれい君ハ君
春のうちこ年月ハとれもかくうまりあ
まのわりいれのこ立りてしてしたも
むわうれうちとうて下ちとうしとゆうを
こハ紫苑とへて又ちうとうとうう心うれこ
ちりもあうもハ心うちすりまりすすもハ見乃

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

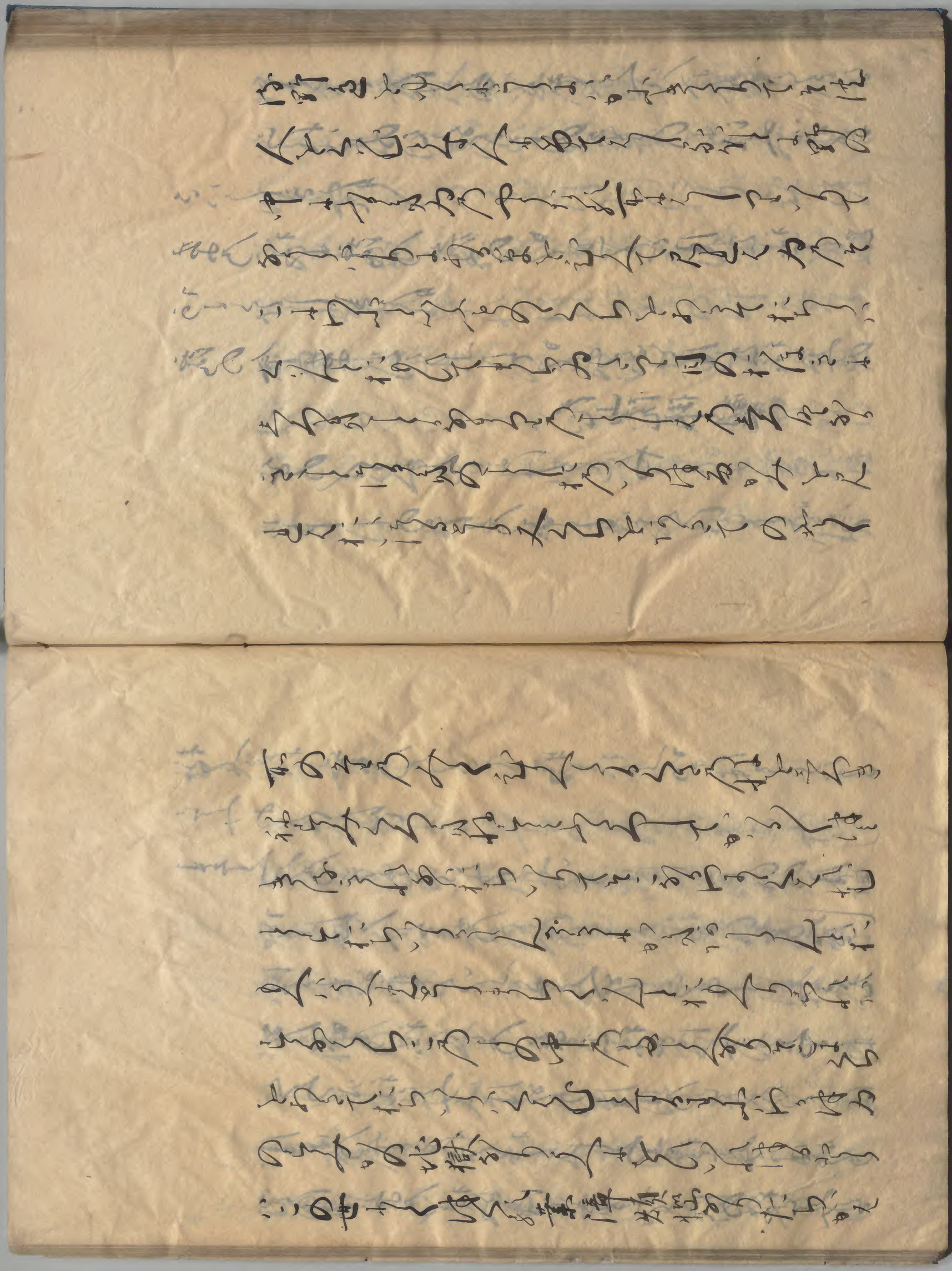
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

恋とらてる

しきぬのいとはしらのくみ
のわくよりのけてとるとはぬのわりて
さそうもせうとへてうれくふふ
まはくて小神のあるよりてさようこと
れくさるとてしるていかぬ
まりとしむわり
いまりのるまりけんしるしたりて
まりとうん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]大永元年より文武天皇[illegible]

[illegible]紙[illegible]ほ[illegible]ひ[illegible]ておろく[illegible]

[illegible]人九[illegible]ていか[illegible]

[illegible]ものしらいとりまいて[illegible]

[illegible]

[illegible]人の心[illegible]ふいとりのこまろ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]山[illegible]のまはハ[illegible]んらめらめのこうは
[illegible]ほとや今人　　とけもりの舞　資仲卿

右

いとうまきの人[illegible]風[illegible]やうとをれたんてうハ
[illegible]うこうきり

[illegible]大二條殿[illegible]しこ関白殿の其[illegible]よ
[illegible]ぬく[illegible]判者[illegible]ぬさ
[illegible]ん[illegible]心
[illegible]れハ

[illegible]て又[illegible]ら[illegible]
藤氏乃長者[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

よこたうやゝもとゝ
すあるこれこの心乃哥ともゆかゝすあのほ
猪苗乃哥ハ奥のいてゝ人よあらせんやたりむ
又ハこゝ人よ心ことうんゝゆゝとゝきくゝしてめ
乃ゝをみてたおせてゝとゝる哥ゆうかくなゝよ
みもるいかりゝ心ゝこゝゝきこゝゝこれゝゝりハ
かゝつゝこゝゝゝいかゝゝしゝもつゝゝみゝゝゝゝ
なくゝとゝはゝゝつゝゝゝゝゝゝゝれゝ古哥
ゝたかゝ心ゝゝ浦乃哥ハ大義史生ゝ景ゝい

きゝとのゝたゝ井のみゝ乃ゝをよゝゝみゝゝる人ゝゝ
ゝりゝゝゝゝよゝかゝゝゝゝゝゝゝ乃ゝ女ゝハ
ゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝれゝ女ハ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

つくしこそ[illegible]やまとたましい[illegible]神[illegible]

人とこそ[illegible]

[illegible]

[illegible]

人のかたるを聞やう万葉集を作ばかりと
うちかたらひてしらめり
いもがいくるにのぞこまそぼくく
いとこうしと
人をひらくに人をのりてるはぼうと
いかるものあるめり
まれ行ども
まれ行ども
まことんやはんとなりつるも
まことんとみんとをもてるものをのの
しるれるはる

まれ行くしてはかりとんとと
ていまものかるれるりてむりの
まれいまとうかやるもこも
とうれ心や或年とるるこは人いうは
ひんとするるるるの
とかるモニ

今ていいかりとなるもまれ
きくこんのかし
ふ尼し

[illegible]

[illegible]

[illegible]

日とそうり三ゑまて[illegible]
[illegible]
[illegible]三年[illegible]
[illegible]
神[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
役行者の二の山を望よ
[illegible]の山の今[illegible]
[illegible]
[illegible]言主[illegible]神[illegible]
[illegible]神通[illegible]
[illegible]
[illegible]この山[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]中[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]心[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

役行者ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan